

temporary

必要無いと思えば必要はない

次々に閉鎖してゆくガソリンスタンドに
張りめぐらされた黄色いバリケード
その内側の空洞

傍を通り過ぎる人々の胸の中に
掬い上げられた
かすかな微生物

建物の連なりの間から覗く雲は
火傷の皮膚のように生々しく
赤茶けて膨れ上がり

何物も
何者も
操られている、と見える

時折爆発する呻きが
その張力を高め
反力を増す

人々の表情に埋め込まれたものに
遠くを見ることはない
ただ複雑に絡み合う糸だけがある

薄闇の中に浮かび上がる桜
千分の一ワットの蛍光
それこそが我々の生命

ひとり
またひとり、と
歩かされている人びと

私は時計を見る
18時半
中世の宗教的時間

我々という歯車
それを制御するものは見当たらない
ただ生命だけがある
規則的運動としての生命だけが

必要無いと思えば必要はない

(2008.3.31)